



# 愛知三の丸クリニック だより

5月臨時号

(平成30年5月)

## 新任医師のごあいさつ

### 愛知三の丸クリニック診療科医長 飯田 将人



専門は循環器内科です。  
前任地は三菱名古屋病院（三菱重工の設立）です。外来では、現役世代の社員の方によくみられる健診の心電図異常、不整脈や高血圧を診療してきました。



入院治療では、高齢者（75歳以上）の心不全患者さんを専門としていました。20年に渡り、心不全の急性期治療から慢性期の療養とリハビリ、最後の看取りまで一つの病院で経験することができました。慢性心不全は高血圧、糖尿病、高脂血症などの生活習慣病が長年持続して血管や心臓が硬くなると、血液の循環が悪くなるため生じます。

長い期間を経て進行すると心臓だけでなく、脳梗塞や認知症など脳障害、誤嚥性肺炎や、貧血、腎不全、または膠原病（リウマチ）に至るまで全身の臓器が障害されますので、循環器内科の医師では対応困難なことも多く、呼吸器科や神経内科、血液内科、腎臓膠原病科の医師と連携してチーム医療を行っていました。



心エコー



頸動脈エコー

社会の高齢化に伴い、今後は日本でも慢性心不全が増加して心不全パンデミックがおきると日本循環器学会が警告しています（パンデミックとは、ある病気が流行すること）。慢性心不全の初期症状は階段や坂道を上る時や長い歩行時に息切れ、動悸、苦しいなどです。進行するとゆっくり歩くことも苦しくなります。

慢性心不全の多くは70歳以上で発症しますが、50歳代からの動脈硬化や心筋障害が長い年月を経て生じますので、現役世代から生活習慣病を是正して、心不全を予防することが必要です。そのためには早期の変化を把握しておく必要があります。心筋の障害は心エコー、動脈硬化は頸動脈エコーでスクリーニングをします。愛知三の丸クリニックでも実施しています。

このように循環器病の予防診療と高齢の方の心不全に特化して診療してきました。お役に立つことがあれば、これを読まれているご自身の問題だけでなく、ご両親やご親族の方も、お気軽に診療においでください。

## 愛知三の丸クリニックの診療科目と診療時間

### 【診療科目】

内科、外科、眼科、皮膚科、小児心療科、歯科・歯科口腔外科

### 【診療時間】(都合により担当医師が変更となる場合があります。)

診療科目	時間	月	火	水	木	金
内 科	午前	(循環器)松波 (循環器)飯田	(内分泌)光本 (循環器)松波	(循環器)飯田 (血液)下川	(循環器)飯田 (消化器)岡田	(内分泌)浅井※2 (血液)緒方
	午後	(呼吸器)※1 (血液)緒方	(循環器)飯田 (血液)緒方	(循環器)松波 (血液)杉崎	(循環器)宮部 (血液)杉崎	(循環器)松波 (血液)杉崎
外 科	午前	—	—	—	鈴木	—
	午後	—	鈴木	—	—	—
眼 科	午後	坂本	—	—	鶴田	—
皮 膚 科	午後	—	—	—	嘉陽(第1・3・5週) 梶村(第2・4週)	—
小 児 心 療 科	午前	—	川村	古橋	吉川	栗山
	午後	—	川村	古橋	吉川	栗山
歯 科 歯科口腔外科	午前	原	原	原	原	原
	午後	原	原	原	原	原

(※1) 月曜午後の呼吸器は、第2週と第4週のみ診察します。

(第2週は中畑医師、第4週は石田医師、重松医師、山田医師のいずれかが診察します。)

(※2) 金曜午前の内分泌は、第2週と第4週のみ診察します。

### 【診療受付時間】

午前： 8時50分から11時00分まで

午後：12時50分から15時30分まで(眼科は15時00分までの受付です。)

※小児心療科は完全予約制となっております。

### 【その他】

休診日については、院内掲示もしくは当クリニックホームページでご確認ください。

URL：<http://www.sannomaru-hp.jp/>

医科の再診の場合は、総合受付または電話(医科予約受付専用電話：052-961-7012)にて予約を受け付けます。

歯科の予約は、歯科受付窓口または電話(歯科予約受付専用電話 052-950-0560)にて予約を受け付けます。

各種健康診断・人間ドックのお問い合わせは、電話(052-950-0500)にご連絡ください。

## 『5月31日は世界禁煙デー』 愛煙家の皆さんには煙たいお話

愛知三の丸クリニック 主任看護師長 白井 政江

我が国では、平成15年の健康増進法において公共の場における受動喫煙の防止が決定し、平成17年にはタバコの規制に関する世界保健機関枠組条約が発効されました。平成22年2月には受動喫煙防止対策が改正され、さらに平成22年10月にたばこ価格の値上げが行われました。

現在、日本の喫煙率は低下してきたとはいえ、先進諸国の中で高い方であり、日本の予防可能な最大の危険因子は「喫煙」である。とまで言われています。

なぜタバコをやめられないのでしょうか。

タバコを吸うとニコチンが脳に作用してドーパミンを放出し「気持ちよさを生み出すシステム」を刺激してしまうからです。

気持ちよいからやめられない。朝、起きたら一服。朝食の後に一服。出勤して一服。昼食後に一服。タバコは嗜好品といわれていますが、実は依存性物質なのです。いくら好きなものでもこのペースで摂取するものなんて他にありません。



では、なぜタバコは害なのでしょうか。

タバコを吸っている人が肺がんや、慢性閉塞性肺疾患(COPD)のリスクが高いことは最近ではよく知られています。タバコの主流煙が有害物質を肺に運び、害をもたらすものだからです。

次に副流煙。火のついた状態のタバコから立ち上る煙です。愛煙家の夫を持つ妻が肺がんになるといったこともしばしば起こっています。ある実験では副流煙のほうが人体に有害であるという結果も出ています。

フィルターを通して吸引している主流煙よりも、立ち上る煙を吸い込んでしまうほうが有害というわけです。

さらに最近注目されているのが第三の煙。三次喫煙(サーバントスモーク)です。これは「煙が見えないのにタバコ臭がする状態」のことです。

家族の手前、室内は禁煙。ベランダで喫煙して戻ってきたが、家族に喫煙がばれてしまった。こんな経験は皆さんお持ちではないでしょうか。

タバコは、人前で吸わなければ家族や他の人に迷惑がかからないというものでもないようです。三次喫煙が家族の喘息や中耳炎を引き起こしていた原因だったという報告もあります。やはり百害あって一利なしと言えそうです。

最後に非燃焼・加熱タバコと電子タバコについてお話しておきます。非燃焼・加熱式タバコはアイコスという名称で、名古屋で先行販売されました。

スマートで煙が出ないので最近では従来のタバコとの二重使用をされる方も多いようですが、タバコ製品には変わりありません。有害物質も含まれています。

タバコは依存性物質であり、家族にも有害であることがお分かり頂けたでしょうか。

政府は東京オリンピックを期に、飲食店での全面禁煙を勧めています。是非、この機会に禁煙を目指してはいかがでしょうか。



## 外来よりお知らせ

### 【禁煙外来について】(内科)

当クリニックでは、毎週水曜日の午前に、内科の下川医師の指導・管理の下に内服薬を用いた禁煙指導(禁煙外来)を行っています。

内服薬による禁煙をご希望の方は、お気軽にご来院ください。

#### 「禁煙外来補助事業について」

地方職員共済組合愛知県支部が実施する、禁煙外来補助事業に申込み、決定された組合員が治療に成功した場合に、治療費の一部を給付する制度があります。

詳しい手順方法につきましては、地方職員共済組合愛知県支部から配信される通知文に記載されていますので、ご確認ください。

### 【AGA(男性型脱毛症)について】(外科・皮膚科)

AGA(男性型脱毛症)による薄毛でお悩みの方は、外科(毎週火曜日の午後、木曜日の午前)及び皮膚科(毎週木曜日の午後)において、医師の診断の下に内服薬フィナステリド錠(プロペシア錠)の処方を行っています。

AGAは少しずつ進行しますので、できるだけお早目の受診をお勧めしています。

当クリニックにご来院の際は、組合員証(保険証)、診察券(初めての方を除く)を持参し、総合受付にお申し出ください。

#### 編集後記

愛知三の丸クリニックだよりの感想や取り上げてほしいテーマ等がありましたら下記メールアドレスにご連絡ください。今後の参考にさせていただきます。

E-mail

[aichi-sannomaru-hp@oregano.ocn.ne.jp](mailto:aichi-sannomaru-hp@oregano.ocn.ne.jp)

#### 愛知三の丸クリニック

住所 名古屋市中区三の丸3-2-1  
電話 052-961-7011(代表)  
052-961-7012(医科予約専用)  
052-950-0560(歯科専用)  
052-950-0500(健診専用)  
県庁内線 4974

(組合員用)